

第 1 回審議会要旨録

令和 7 年度第 1 回特別職報酬等審議会議事要旨録

開催日時 令和 7 年 7 月 30 日（水） 13：30～
開催場所 小林市役所 2 階 第 1 会議室
出席委員 9 人
欠席委員 1 人
事務局・説明者 総務部長、総務課長、財政課長、議会事務局長、総務課主幹、
総務課主査

- 委嘱状交付
市長から各委員に委嘱状交付
- 市長挨拶
- 委員紹介
事務局が委員紹介
- 会議の成立報告
事務局から委員の過半数の出席（9 人）により会議の成立を報告
- 会長選出
事務局一任の声あり。事務局から税所委員を会長に提案し、委員の賛同受け選出
- 会長挨拶
- 諮問書交付
市長から税所会長へ諮問書交付
-市長退席-
- 会長代理指定
会長が橋ノ口委員を指定
- 会議傍聴の可否について
公開に決定
- 配布資料説明
総務課長、財政課長説明
- 審議
主な質問・意見
質問 資料に示されている月額給料・報酬には時間外手当や扶養手当は含まれないのか。
回答 含まれない。
先ほどの説明の補足として、今回特別職報酬等審議会を開催することとなった

第 1 回審議会要旨録

のは、東日本大震災や世界的な経済不況、新型コロナ蔓延などがひと段落し、一般的な職員の給与、民間給与の状況を見たうえで、議員・市長の任期を鑑み見直しのタイミングと捉えたもの。また、令和 9 年 4 月の改選後の議員定数は現在の 19 人から 3 人減の 16 人となることから、議員報酬引き上げについて特別職報酬等審議会の開催について議会から申し入れを受けている。

質問 審議会のスケジュールを提示できるか。

回答 今後 3 回程度開始予定で、次回以降に引き上げ、引き下げ、据え置きの方角性並びに具体的上げ幅や下げ幅及び根拠を審議いただく予定である。

質問 民間企業であれば、生活給が基本給であってボーナスは業績連動である。特別職についてはどのような考え方、根拠か。

回答 ボーナスについては国の人事院勧告、宮崎県の人事委員会の勧告をもとに国、県に連動している。これは民間企業水準に基づいたものである。

質問 市の財政状況は一定の健全性を保っているということだが、国の財政状況によって交付税や譲与税が削減された場合でも、健全性が保たれる見通しがあるのか。

回答 消費税等を含め、国の動向を注視したい。

○その他

次回日程 令和 7 年 8 月 20 日（水） 13：30～

開催場所 小林市役所 2 階 第 1 会議室

（15：12 審議会終了）